

ひまねき

警固屋学園通信
第69号
28.2.8
発行

旧鍋小学校の跡地活用について 小学生・中学生も考えています。

旧鍋小学校跡地活用について、警固屋地区の住民で考えるアンケートが一月にありました。警固屋まちづくり協議会から、小学生・中学生からも意見を出してくださいとの連絡があり、児童・生徒も考えました。

小学校では、四年生以上が考えました。いのししカフェ、遊べる場所に、みんなが宿題をする場所にといった意見が出されました。

中学校では、総合的な学習の時間に、案を考えました。鍋小学校の立地条件や警固屋の地域の特徴などをふまえて、活用策を考えました。

九年生は、実際に鍋小学校で過ごした生徒もおり、校舎や体育館の様子までよく知っています。そこで総合的な学習の時間のテーマを「警固屋に学び、警固屋に貢献！」として、鍋小学校跡地の活用案について詳しく考えることにしました。

九年生の提案の中には、カフェなどの地域住民の世代間交流ができる場にするといったもの、リハビリやトレーニングジムな

どの体力向上施設や、ライブハウスのようなイベントをする、などの様々なものが出されました。

これらの提案をより魅力あるものにするため、警固屋市民センターから横間副センター長さんにお越しいただき、跡地活用案に中学生に期待することをお話しいただいた後、広島県及び呉市における警固屋の街の魅力を捉え直しました。

生徒からは坂道が多いことを活かすことはできないかとか、自転車でツーリングする人の通過点となることから身近にある山や海的美しさなどをもっとPRできないかといった改善策が出されました。



「大人が思いつかない発想で」と横間副センター長さん。



九年生の表情も真剣です。

今後、地域の方にも中学生の提案を聞いてもらいたいと思っています。

インフルエンザで 学園朝会が中止になりました

警固屋学園では、一月下旬から二月始めにかけて、インフルエンザが流行しました。

小学校では四名、中学校では七名の児童生徒がインフルエンザに感染しました。小学校と中学校のインフルエンザの型がちがっており、感染の拡大を防ぐため、二月二日に予定していた学園朝会をやむなく中止にしました。また中学校では、全生徒マスク着用とし、放課後の部活動を中止するなどの対策をとりました。現在、中学校では終息に向かい、小学校では増加傾向にあります。



中学校ではマスクをつけた生徒のこのような光景がみられました。

**九年生平村古都さん、
皇后盃第三十四回全国女子駅伝の
メンバーに選出されました！**

去る一月十七日に京都で行われた、皇后盃第三十四回全国女子駅伝の登録メンバーに警固屋中学校九年生平村古都さんが選ばれました。

当日は中学生区間を走る選手のサポートにあたり、実際に走ることはありませんでしたが、広島県内で中学生の人数枠は三名、その中に選出されたことは大変な快挙です。

すでに、中学校横と鍋棧橋にはられていた横断幕を見てご存じの方もいらっしゃると思います。平村さんは中学校では陸上部に所属し、日々こつこつと練習を積み重ねてきました。昨年の十二月に行われた警固屋ジョギング大会では、大会新記録で一位になっています。今後の活躍が期待されます。



出発前の壮行式での平村さん

大会を終えての感想
「とてもいい経験になりました。これから高校に行っても、努力を続けていきたいです。」

**小中一貫教育を意識した
校内掲示物について**

警固屋学園では、小中一貫教育を意識した校内掲示物を工夫しています。

毎月小中学校で同じ季節の詩の掲示をしています。二月の詩は三好達治の「雪」です。



写真上 中学校の掲示
写真下 小学校の掲示



また、中学校に小学生の作品を掲示しています。それは中学生の下足の前に掲示され、中学生は日々その作品を見ます。これにより中学生は小学生をより身近に感じることができ、小中の心がつながる掲示物です。

中学校の生徒下足の前です。小学生の書写の作品（手前）の隣に中学生の作品（奥）が掲示されています。



ホッと・ハート・メモ

先月号でお伝えした軽トラックを救出した中学生のこと…。あれから一月中に同じ場所で自動車動けなくなる出来事がもう一件起こりました。中学生・小学校と中学校の先生方がかけつけ、無事救出されました。

小学校と中学校の間の細い道は自動車では通り抜けられません。通行される地域の方、お気を付けください。



《編集後記》

暖冬から一変、厳しい寒さとなった一月でした。しかし、立春を過ぎ、昼間の日ざしには春を感じられるようになりました。春が待ち遠しいですね。

ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。